

スポーツ少年団や学校運動部は、各種目を中心とした活動を通して心身ともに健全な青少年の育成を目的に、能力や目標、生活環境に応じて将来展望に立った指導育成を行っており、これを基本としながら、現在のスポーツ少年団員や学校運動部員が活躍の中心選手となる2020年の東京オリンピックやその後の札幌冬季オリンピックを見据え、北海道でも有望なジュニア選手を発掘し将来に向けた育成をしています。

当市からも冬季オリンピック選手やパラリンピックメダリスト、プロ野球選手やサッカーJリーグジュニア選手を輩出しており、現在も水泳やスキー選手は全国大会出場等で活躍してはいますが、当市におけるアスリート育成や競技力向上は大きな課題の一つです。

本研修会は、将来日本は基より世界で活躍する選手を育成する中で、中央都市からだけでなく、地方都市からも有望な選手、いわゆるタレントの発掘や育成が可能となる、その取組み方を目的に「有望なジュニア選手の発掘と育成支援」をテーマとして開催します。

【情報提供】「北海道の競技力向上に向けた取組みについて」

講師；川森 功偉 氏(北海道環境生活部くらし安全局文化・スポーツ課スポーツ G 主査)

現在北海道は、北海道アスリートキャリア形成事業を展開しており、スポーツの力で活力ある北海道を創造することを目的に、アスリートキャリア連携専門員を配置し、市町村のスポーツ活動支援や大学との連携、競技団体との連携で有望なジュニア選手の発掘や育成支援を行っています。

本研修会では、全国初のモデル事業として事業展開している同事業担当者より、その概要や取組み、これまでの実績や今後の展望について情報提供いただきます。

【講義】「有望なジュニア選手の発掘と育成」

講師；逸見 佳代 氏(北海道アスリートキャリア連携専門員)



山梨県出身 山梨学院大学卒業
スキーフリースタイル女子エアリアル元日本代表選手
1993年 中学2年生でスキーを始める
1994年 スキーフリースタイル「エアリアル」へ転向
1997年 ノースアメリカンカップ優勝
1998年 長野五輪日本代表(大会前の怪我で辞退)
2002年 ソルトレイクシティ五輪日本代表(公式練習中怪我)
2006年 トリノ五輪出場(21位)、現役引退

2013年 北海道特別職非常勤職員「北海道アスリートキャリア連携専門員」任命

現在は、オリンピックで活躍できる有望選手の発掘や育成に努めています。

北海道アスリートキャリア連携専門員として、市町村のスポーツ活動支援や有望選手の発掘と育成支援が実際に行われている具体的事例、地方都市でも可能となる有望なジュニア選手の育成方法、スポーツ団体と学校との連携をもった取組み等について講義いただきます。

【事例発表】テーマ；「優秀な選手の育成指導と側面的支援」

発表者；安齋 慎 氏(稚内潮見が丘中学校野球部副顧問)

発表者；熊谷 智明 氏(稚内白樺剣道スポーツ少年団育成会員)

スポーツ少年団活動や学校運動部活動を通して青少年の健全育成が図られている中、指導体制や支援体制の充実により、昨年度は稚内潮見が丘中学校野球部や水泳、スキーの小・中学生が全国大会へ出場しました。

また、本年も水泳をはじめ剣道少年団が全国大会へ出場しており、スキー少年団からはヨーロッパ合宿への参加計画も聞き及んでいます。

本研修会では、地方都市稚内市からでも小・中学生が全国で活躍しているその背景として、充実した指導体制や保護者、地域の支援体制が考えられますが、その指導や関係機関との連携等具体的な活動事例について発表いただきます。